



二延 学校だより

1月号

<https://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>

令和2年のスタートにあたり

校長 滝淵 正史

今年の年末年始は天候に恵まれ、穏やかな新年のスタートとなりました。それぞれの冬休みを過ごした子どもたちも登校を再開し、3学期が始まりました。3学期はとても短く、あっという間に過ぎてしまいがちですが、地に足を付けて着実に教育活動を進めていきたいと思えます。

年始にあたり、令和2年（4月以降を見据えて）の教育を展望してみたいと思えます。今年のトピックは、何といても4月からの新学習指導要領のスタートと、2020東京オリンピック・パラリンピックです。新学習指導要領は平成29年3月に告示され、学校でもこれまで2年間にわたり準備を進めてきました。大きな柱は「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通じた、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開」です。具体的には、「5・6年生の外国語活動が正式な教科「外国語」となり、3段階の評定が行われるようになること」、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付ける学習活動を行うこと（プログラミング学習）」、「各教科の評価が、これまでの4観点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の3観点にかかわること」、さらに本区においては「市民科の一層の充実を目指した『一貫プラン』をスタートさせること」などが挙げられています。

本校では、国語や算数を中心とした「教えて考えさせる授業」の授業スタイルを実践する中で、児童の言語活動（output）の一層の充実が、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、引き続き大きな課題です。プログラミング学習は、足掛け4年目になる日販テクシードさんとの連携の充実により、4・5年生におけるロボット「こくり」を活用した体験学習を継続していく予定です。評価等の変更についてはほぼ準備は終わっています。市民科の「一貫プラン」は、中学校区を単位とした小・中学校の連携による特色ある市民科の充実を目指した計画で、本校は荏原六中と小山小の3校で連携しながら準備しています。「地域から学ぶ」「学びを深める」「生き方を学ぶ」の3つが柱となっています。

オリンピック・パラリンピックに向けては、児童の学びにとって価値ある活動が、次年度以降も継続できるよう、これまで実施してきた学習内容を再度見直し、一層の充実を目指します。また、8・9月に予定されている観戦が充実するような事前学習の計画も必要です（暑さ対策もとても大きな課題です）。

今年度の3学期は、1月に書き初め展（1月14日～18日）、2月に学習発表会（14・15日）などが予定されています。児童の学習の成果の一端をご覧いただける機会です。ぜひ多くのご参観をお待ちしております。

◀ 1月の行事予定 ▶ 生活目標：心をこめてあいさつをしよう。

日	曜	行事・予定
8	水	始業式・給食始・安全指導
9	木	委員会発表・書初め(3,4年) 計測(5,6年)・掃除場所変更めあて発表
10	金	書初め(5,6年)・計測(3,4年)
13	月	成人の日
14	火	全校朝会・書初め展始
15	水	午前授業・朗読の日・計測(1,2年)
16	木	クラブ委員会発表
18	土	二分の一成人式(4年)・学年活動(4年) 書初め展終

日	曜	行事・予定
20	月	全校朝会・委員会活動 体力アップ週間～24(金)
24	金	社会科見学(5年)
27	月	全校朝会・クラブ活動
29	水	中学図書スタッフによる授業(6年)
30	木	なかよし班遊び
31	金	プログラミング教育(5年)

※日時予告なしの避難訓練があります。